

TOTO

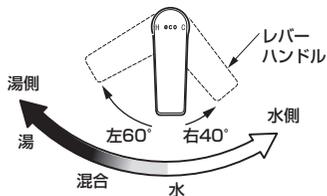
シングルレバーカートリッジ

THF57型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

施工説明書

温度調節の仕方



レバーハンドルを回す。

中央より右側に回すと水、左側へ回すと次第に温度が上がります。

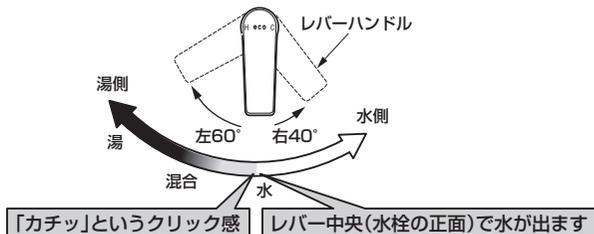
左側いっぱいに戻ると、最高温度になります。

エコシングル

本商品は「エコシングルカートリッジ」を搭載しています。よく使うレバー中央位置では水を吐水することで、気づかずに湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。(無駄なお湯やエネルギーを使わないための機能です)

お湯が必要な場合は、レバーハンドルを中央より左側に回してください。

水のみ位置、湯を使い始める位置をクリック感が教えてくれます。



1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

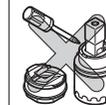
必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意



カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない

特殊組立をしておりますので、破損します。

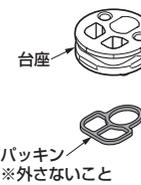
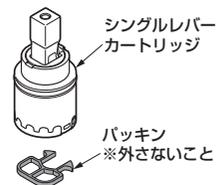


カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う

湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2. 部品の確認



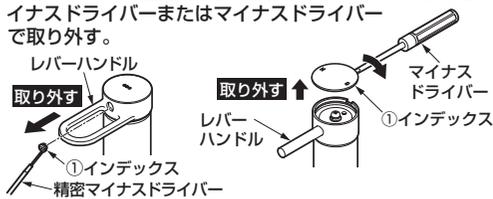
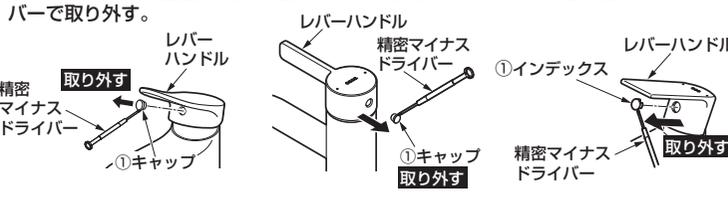
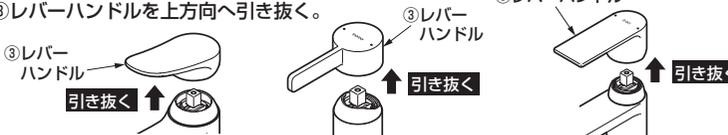
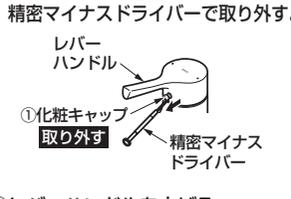
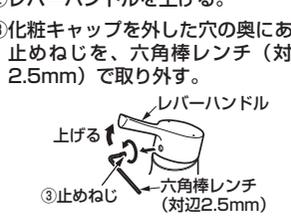
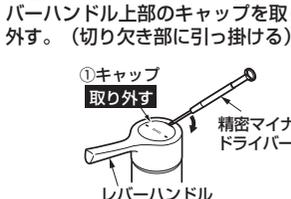
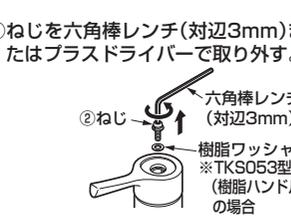
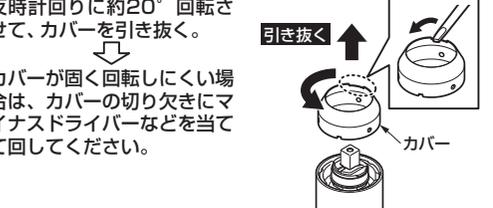
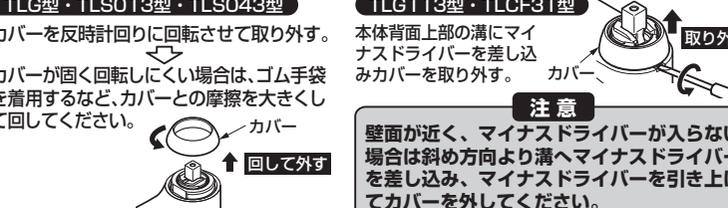
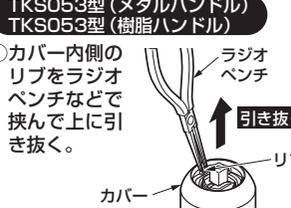
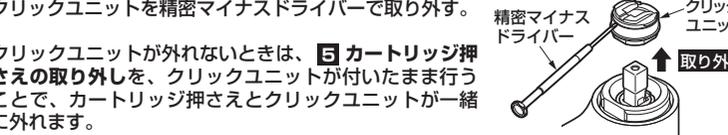
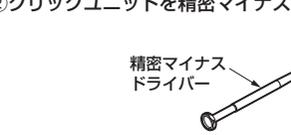
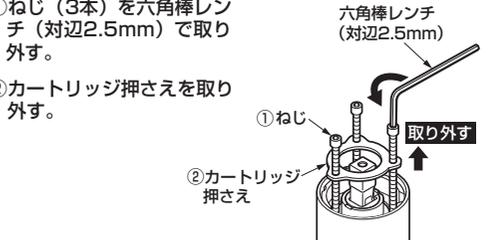
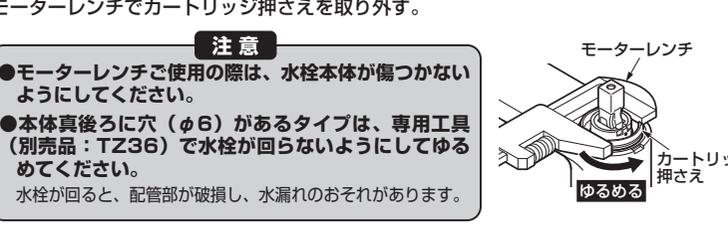
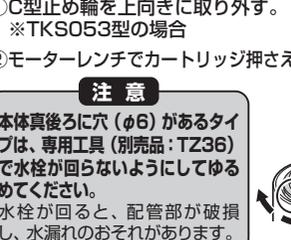
水栓の種類によってどれかを使用します。

3. 取り付け前に

カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。

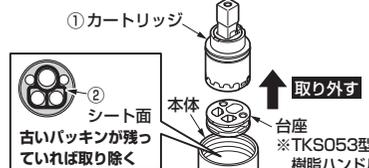
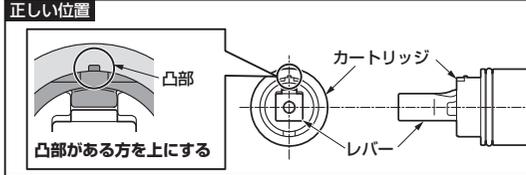
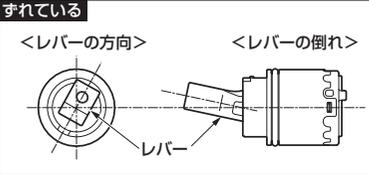
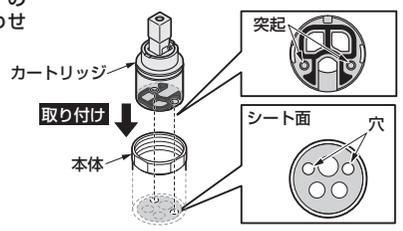
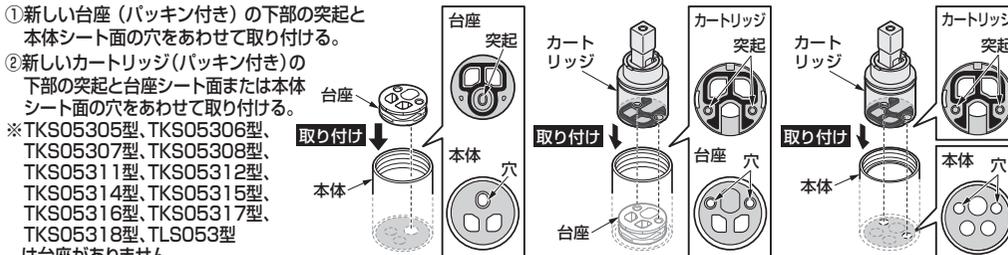
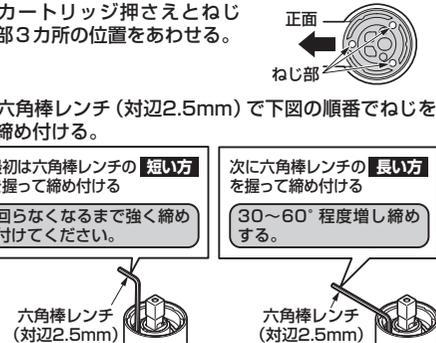
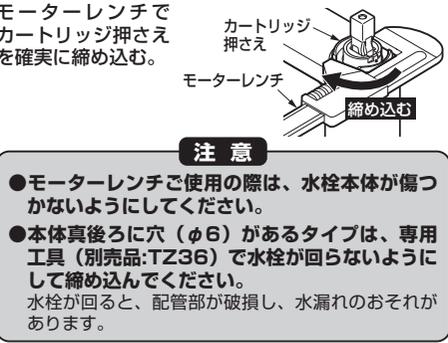
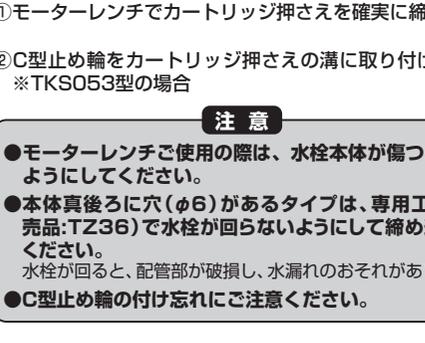
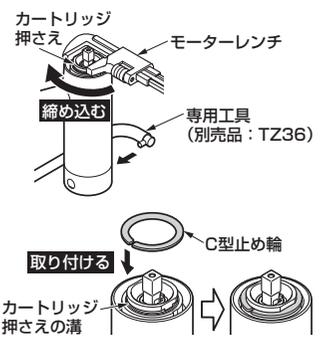
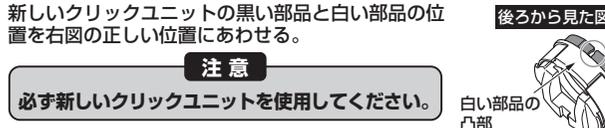
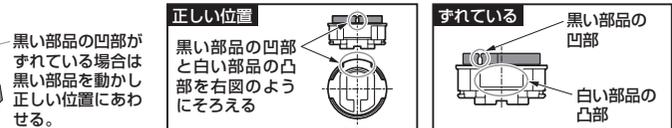
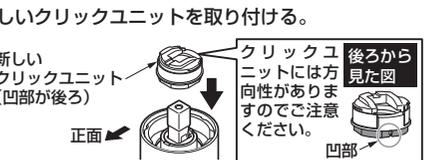
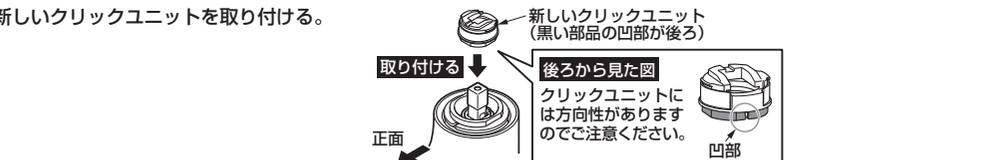
モーターレンチ 	精密マイナスドライバー 	ラジオペンチ 	マイナスドライバー 	プラスドライバー 	六角棒レンチ (対辺3mm) (対辺2.5mm) 	専用工具 (別売品: TZ36) ※本体後ろに穴(φ6)があるタイプのみ
-------------	-----------------	------------	---------------	--------------	------------------------------	---

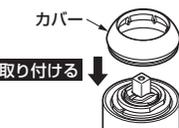
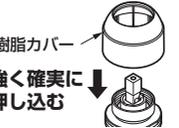
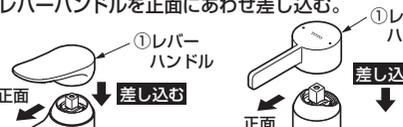
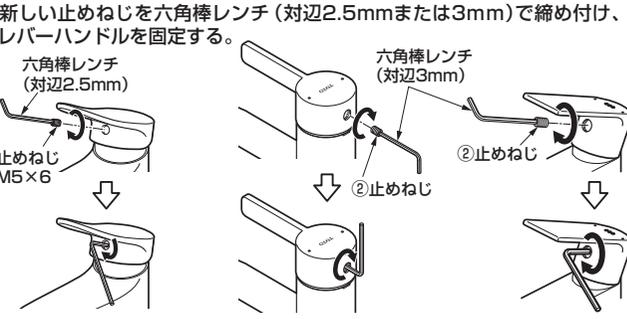
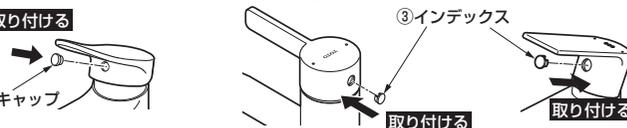
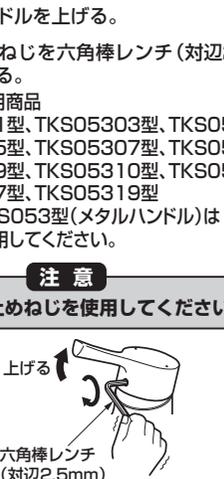
4-1. 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

対象品番	TL432型・TLC32型	TLCF31型・TLG013型・TLG023型・TLG043型・TLG053型・TLG073型・TLG083型 TLG093型・TLG103型・TLG113型・TLG123型・TLS013型・TLS043型	TKS053型 (メタルハンドル)	TKS053型 (樹脂ハンドル) TLS053型 (樹脂ハンドル)
1 止水栓または元栓を開める	湯側・水側の止水栓または元栓を確実に開める。			
2 レバーハンドルの取り外し	<p>①レバーハンドル正面または上面のインデックスを精密マイナスドライバーまたはマイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②インデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ (対辺3mm) またはプラスドライバーで取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドルの正面または背面のキャップまたはインデックスを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②キャップまたはインデックスを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ (対辺2.5mmまたは3mm) で取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 	<p>①レバーハンドル正面の化粧キャップを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>  <p>②レバーハンドルを上げる。</p>  <p>③化粧キャップを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ (対辺2.5mm) で取り外す。</p>  <p>④レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p>	<p>①精密マイナスドライバーなどでレバーハンドル上部のキャップを取り外す。(切り欠き部に引っ掛ける)</p>  <p>②ねじを六角棒レンチ (対辺3mm) またはプラスドライバーで取り外す。</p>  <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p> 
3 カバーの取り外し	<p>反時計回りに約20°回転させて、カバーを引き抜く。</p>  <p>カバーが固く回転しにくい場合は、カバーの切り欠きにマイナスドライバーなどを当てて回してください。</p>	<p>TLG型・TLS013型・TLS043型 カバーを反時計回りに回転させて取り外す。</p> <p>TLG113型・TLCF31型 本体背面上部の溝にマイナスドライバーを差し込みカバーを取り外す。</p> <p>注意 壁面が近く、マイナスドライバーが入らない場合は斜め方向より溝へマイナスドライバーを差し込み、マイナスドライバーを引き上げてカバーを外してください。</p> 	<p>TKS053型 (メタルハンドル) TKS053型 (樹脂ハンドル)</p> <p>①カバー内側のリブをラジオペンチなどで挟んで上に引き抜く。</p> 	<p>TLS053型 (樹脂ハンドル)</p> <p>①樹脂カバーを手で上向きに真っすぐに引き抜く。</p> 
4 クリックユニットの取り外し	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> <p>クリックユニットが外れないときは、5 カートリッジ押さえの取り外しを、クリックユニットが付いたまま行うことで、カートリッジ押さえとクリックユニットが一緒に外れます。</p> 	<p>②クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> 	
5 カートリッジ押さえの取り外し	<p>①ねじ (3本) を六角棒レンチ (対辺2.5mm) で取り外す。</p> <p>②カートリッジ押さえを取り外す。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえを取り外す。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。 ●本体真後ろに穴 (φ6) があるタイプは、専用工具 (別売品: TZ36) で水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 	<p>①C型止め輪を上向きに取り外す。 ※TKS053型の場合</p> <p>②モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p>注意 本体真後ろに穴 (φ6) があるタイプは、専用工具 (別売品: TZ36) で水栓が回らないようにしてゆるめてください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。</p> 	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p>専用工具 (別売品: TZ36)</p> 

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

4.2.

対象品番	TL432型・TLC32型	TLCF31型・TLG013型・TLG023型・TLG043型・TLG053型 TLG073型・TLG083型・TLG093型・TLG103型・TLG113型 TLG123型・TLS013型・TLS043型	TKS053型 (メタルハンドル)	TKS053型 (樹脂ハンドル) TLS053型 (樹脂ハンドル)
6 カートリッジの取り外し	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。 シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。		①カートリッジと台座を取り外す。 ②本体のシート面を確認する。 シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。 <p>注意</p> シート面を傷つけないようにしてください。	
7 新しいカートリッジの位置あわせ	新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。		ずれている 	倒れている場合はレバーを動かし、正しい位置にあわせる。 
8 新しいカートリッジ取り付け	新しいカートリッジ (パッキン付き) の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。 	①新しい台座 (パッキン付き) の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。 ②新しいカートリッジ (パッキン付き) の下部の突起と台座シート面または本体シート面の穴をあわせて取り付ける。 ※TKS05305型、TKS05306型、TKS05307型、TKS05308型、TKS05311型、TKS05312型、TKS05314型、TKS05315型、TKS05316型、TKS05317型、TKS05318型、TLS053型は台座がありません。 		
9 カートリッジ押さえの取り付け	①カートリッジ押さえとねじ部3カ所の位置をあわせる。 ②六角棒レンチ (対辺2.5mm) で下図の順番でねじを締め付ける。 <p>最初は六角棒レンチの 短い方 を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>次に六角棒レンチの 長い方 を握って締め付ける 30°~60°程度増し締めする。</p> 	モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。 ●本体真後ろに穴 (φ6) があるタイプは、専用工具 (別売品:TZ36) で水栓が回らないようにして締め込んでください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 	①モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。 ②C型止め輪をカートリッジ押さえの溝に取り付ける。 ※TKS053型の場合 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。 ●本体真後ろに穴 (φ6) があるタイプは、専用工具 (別売品:TZ36) で水栓が回らないようにして締め込んでください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 ●C型止め輪の付け忘れにご注意ください。 	
10 新しいクリックユニットの位置あわせ	新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。 <p>注意</p> 必ず新しいクリックユニットを使用してください。 <p>黒い部品の凹部がずれている場合は黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。</p> <p>正しい位置</p> <p>黒い部品の凹部と白い部品の凸部を右図のようにそろえる</p> <p>ずれている</p> <p>黒い部品の凹部</p> <p>白い部品の凸部</p>  			
11 新しいクリックユニットの取り付け	新しいクリックユニットを取り付ける。 	新しいクリックユニットを取り付ける。 	新しいクリックユニットを取り付ける。 	

対象品番	TL432型・TLC32型	TLCF31型・TLG013型・TLG023型・TLG043型・TLG053型・TLG073型・TLG083型・TLG093型・TLG103型・TLG113型・TLG123型・TLS013型・TLS043型	TKS053型 (メタルハンドル)	TKS053型 (樹脂ハンドル) TLS053型 (樹脂ハンドル)
12 カバーの取り付け	<p>カバーを本体に挿入し、約20°時計回りに回します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カバーの突起を本体内部の溝とあわせてください。 ●カバーの切り欠きが後側となるようにしてください。 	<p>TLG型・TLS013型・TLS043型 TLG113型・TLCF31型</p> <p>カバーをカートリッジ押さえへ、時計回りにねじ込む。</p> <p>カバーを取り付ける。</p> <p>注意</p> <p>上方向から「パチッ」と音がするまで押し込んでください。カバー取り付け後は、本体との間にすき間がないか、ご確認ください。</p> 	<p>TKS053型 (メタルハンドル) TKS053型 (樹脂ハンドル)</p> <p>カバーを取り付ける。</p> 	<p>TLS053型 (樹脂ハンドル)</p> <p>樹脂カバーを取り付ける。</p> <p>強く確実に押し込む</p> 
13 レバーハンドルの取り付け	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)またはプラスドライバーで締め付け、レバーハンドルを固定する。</p>  <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする。</p> <p>③インデックスを取り付ける。</p>  <p>赤(湯側) 青(水側)</p> <p>インデックス表側 凹凸をあわせて取り付ける</p> <p>インデックス裏側 本体側</p> <p>インデックス後側 凹凸をあわせて取り付ける</p> <p>本体後側</p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②新しい止めねじを六角棒レンチ(対辺2.5mmまたは3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。</p>  <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>①最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>②次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする。</p> <p>③キャップまたはインデックスを取り付ける。</p>  <p>凹凸をあわせて取り付ける</p> <p>インデックス表側 インデックス裏側 本体・ハンドル側</p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②レバーハンドルを上げる。</p>  <p>③新しい止めねじを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で締め付ける。</p> <p>※M5×10使用商品 TKS05301型、TKS05303型、TKS05304型、TKS05305型、TKS05307型、TKS05308型、TKS05309型、TKS05310型、TKS05313型、TKS05317型、TKS05319型 その他のTKS053型(メタルハンドル)はM5×6を使用してください。</p> <p>注意</p> <p>必ず新しい止めねじを使用してください。</p> <p>①最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける 回らなくなるまで強く締め付けてください。</p> <p>②次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60°程度増し締めする。</p> <p>④化粧キャップを取り付ける。</p> 	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。</p>  <p>②新しいねじをプラスドライバーで締め付ける。</p>  <p>注意</p> <p>必ず新しいねじを使用してください。</p> <p>③キャップを取り付ける。</p> 
14 動作確認	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。</p> <p>②湯側・水側の止水栓または元栓を開ける。</p> <p>③水漏れがないか確認する。</p> <p>④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安</p> <p>※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。 8Lバケツの場合：約1分10秒で満水 ※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。</p>	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。</p> <p>②湯側・水側の止水栓および元栓を開ける。</p> <p>③水漏れがないか確認する。</p> <p>④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安</p> <p>※TKS053型(メタルハンドル・樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量7L/分(目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒)になるように止水栓で調節してください。吐水切り替えタイプの場合は切替部を回して一本吐水にしてください。 ※TLS053型(樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。 8Lバケツの場合：約1分10秒で満水 ※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。</p>	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。</p> <p>②湯側・水側の止水栓および元栓を開ける。</p> <p>③水漏れがないか確認する。</p> <p>④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安</p> <p>※TKS053型(メタルハンドル・樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量7L/分(目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒)になるように止水栓で調節してください。吐水切り替えタイプの場合は切替部を回して一本吐水にしてください。 ※TLS053型(樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。 8Lバケツの場合：約1分10秒で満水 ※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。</p>	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。</p> <p>②湯側・水側の止水栓および元栓を開ける。</p> <p>③水漏れがないか確認する。</p> <p>④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安</p> <p>※TKS053型(メタルハンドル・樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量7L/分(目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒)になるように止水栓で調節してください。吐水切り替えタイプの場合は切替部を回して一本吐水にしてください。 ※TLS053型(樹脂ハンドル)：レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。 8Lバケツの場合：約1分10秒で満水 ※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量がでない場合があります。</p>